（認特）浜松 NPO ネットワークセンター
2023 年度　事業報告（2023/4/1～2024/3/31）

１．民間非営利組織の発展を支える事業

（１）共同事務所運営：会議室・事務機器の貸し出し、事務局代行、交流コーナー

事務局代行は、フィリピノナガイサ、浜松環境ネットワークの２団体

（２）啓発

１）ネットワーク事業

① つながる仲間ミーティング【静岡県労働者福祉基金協会】

ＮＰＯパートナー委員会として実施する「幸せを支え合う社会を実現する」プロジェクト会議に参加。西部地区担当の N-Pocket が NPO パートナー委員会参加の福祉事業団体とＮＰＯの連携活動を企画。今年度からは浜松市民協働センター事業者である認定 NPO 法人魅惑的倶楽部も合流参加。

② フードバンク

・フードバンク

個人、企業、リサイクル実践機関とネットワークすることによって、孤立を防ぐための支え合いと地球環境を守るための資源循環の啓発活動として実施。

*外国人市民向け食料支援（HICE との協働）：のべ 23 家族へ合計 212Kg 提供。

*通年：食品寄贈受け入れ（114 件、1017Kg））　食品提供（77 件、667Kg）

食品のやり取りを通しての連携：障害者発達支援センター、企業（CSR の一環、防災備蓄の入れ替え）、高校、教会、自治会、子ども食堂、学習支援者、路上生活者支援団体

・子育て世帯に対するフードパントリー緊急支援事業（浜松市委託 300 万）

（３）情報収集・提供

１）ニュースレター年４回（100 号 101 号記念号含む）、ホームページ、ブログ（エヌポケット 11 回、ジョブコーチ５回）、Facebook（43 件）、X（旧 Twitter）で発信

２）エヌポケットサロン

WEB パブコメサロン（1 回）「第 5 次浜松市地域福祉計画（案）」参加者 7 名

3）情報受発信

① 「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」会員

② 「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」パートナー会員

③ 静岡県西部 NPO 法人会・幹事会

④ “ふじのくに” ｉ（アイ）マップ支援団体登録、

合同相談会参加（沼津会場、富士会場、静岡会場、島田会場、浜松会場）

⑤ 内閣官房　孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム協力会員

⑥ ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム加入団体

⑦ 講師派遣　あいホール市民講座「ジェンダーめがねで地域を見てみたら」、第一学院高校湖西市市民活動セミナー、就労を考えるみんなの集い「カフェ就労」，静岡特別支援学校南の丘、浜松手をつなぐ育成会、オールしずおか ベストコミュニティ

（４）地域資源調査

Web サイト「はままつ市民の力きらきら BOX」　内容一部更新

（５）提言

１）行政機関等の各種委員会委員

井ノ上美津恵：浜松市創造都市推進事業補助金審査委員、浜松市市勢功労者表彰審査委員
静岡県ふじのくに NPO パートナーシップ委員、静岡県ふじのくに NPO センター選定委員

大野木里美：湖西市文化の香るまちづくり審査委員、浜松市共同募金委員会委員

島田江津子：西遠地区就業促進協議会委員
浜松市中エリア障がい者自立支援連絡会構成員

松井章子（会員）：浜松市ユニバーサルデザイン審議会委員

２）パブリックコメント提出

第 5 次浜松市地域福祉計画案、第 4 次浜松市障がい者計画案

２．多様な人々の社会参加を支える事業

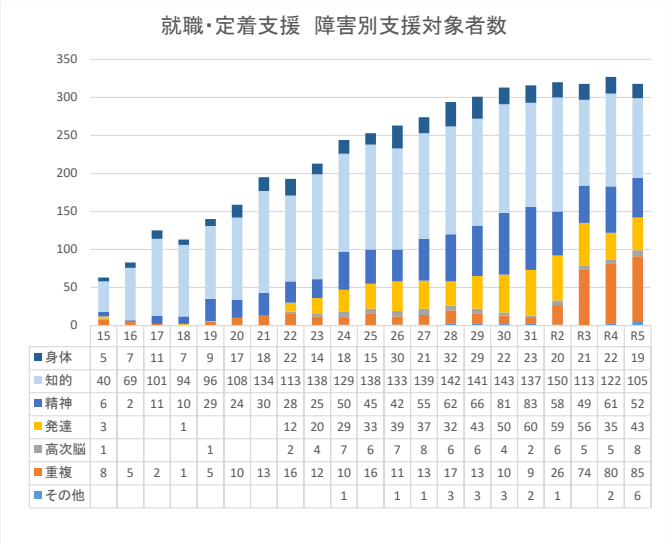
（１）障害のある人

１）障害者職場定着支援事業（22 年目）【静岡県経済産業部】

① ジョブコーチ派遣

支援対象者 318（301+17）/300 人　派遣件数 3,672/3,600 人日

定着調査 134 人（継続 97、離職 25、雇用されない 12）



	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5
身体	5	7	11	7	9	17	18	22	14	18	15	30	21	32	29	22	23	20	21	22	19
知的	40	69	101	94	96	108	134	113	138	129	138	133	139	142	141	143	137	150	113	122	105
精神	6	2	11	10	29	24	30	28	25	50	45	42	55	62	66	81	83	58	49	61	52
発達	3			1				12	20	29	33	39	37	32	43	50	60	59	56	35	43
高次脳	1				1			2	4	7	6	7	8	6	6	4	2	6	5	5	8
重複	8	5	2	1	5	10	13	16	12	10	16	11	13	17	13	10	9	26	74	80	85
その他										1		1	1	3	3	3	2	1		2	6

② ジョブコーチスーパーバイザーによる企業内ジョブコーチへのアドバイス支援

287/280 人日

③ ジョブコーチスキルアップ研修　10 回

ジョブコーチの資質の向上を図る講座を会場開催または Zoom で開催

参加者 57 人（のべ 425 人）

④ 障害者職場定着支援者養成研修

静岡県ジョブコーチ希望者および企業担当者、障害者施設などの支援者向け研修

日程：第 1 回　7/12・13・14・19・21　、第 2 回　8/23・24・25・31・9/1

場所：現地開催および Zoom によるハイブリッド研修

受講者：第 1 回 41 人、第 2 回 78 人

修了証発行：第 1 回 30 人、第 2 回 65 人

実習希望者 10 人→JC 登録 3 名+3 名（4/1 登録）（実習継続中 2 名、辞退 2 名）

⑤ 精神障害者職場環境アドバイザーの派遣

128/96 社　300/288 人日　定着支援人数 58/115 人

定着調査 23 人（継続 21、離職 2）

⑥ 関係機関との連携

オールしずおかベストコミュニティ　コーディネーター、

コネクトラボ　職域拡大コーディネーターとの連絡会（月 1 回）

2）静岡県ジョブコーチ派遣事業運営のための付随事業

① 拠点ミーティングおよび代表者会議　それぞれ月 1 回

② ブログ発信 5 回　https://blog.canpan.info/shizuokakenjobcoach/

③ 静岡県ジョブコーチ　アドバイザリーボード(未実施)

④ 関係団体とのネットワークづくり

・各地区の各種支援会議

3）障害者職業センタージョブコーチ事業（障害者職場適応援助者助成金事業）（20 年目）

【独立行政法人　高齢･障害･求職者雇用支援機構】

職業センターとの連携の下に実施する訪問型ジョブコーチ支援事業（ジョブコーチ 1 名）

4）障害者雇用コンサルタント

① 磐田市の病院での支援（中遠拠点）　【自主事業】

藤枝市の病院での支援（志太榛原拠点）【自主事業】

② 静岡県人事課

職員向け意識啓発研修【自主事業】

障害のある職員の定着を目的とした個別相談会、相談員派遣【自主事業】

③ 自治体や企業を対象にした JC 利用契約促進のための訪問活動

（2）ICT による社会参加支援

1）障害者在宅 ICT 機器講習

① 西部地域（13 年＋7 年目）　【静岡県健康福祉部】

申込 24 名（視覚 14、肢体 5、聴覚 2、重複 1、精神 1、学習障害 1）

講師 12 名、実施講座 281H

② 中部地域（3 年目）　【静岡県健康福祉部】

申込 3 名（肢体 1、視覚 2）　講師 2 名、実施講座 24H

③ 東部地域（3 年目）　【静岡県健康福祉部】

申込 2 名（肢体 2）　講師 1 名、実施講座 4H

2）障害者福祉施設内での iPad 講座＋PC 講座（15 年目）【浜松市社会福祉事業団】

iPad12 回（のべ 63 名）＋PC 講座 24 回（のべ 87 名）　ボランティアのべ 61 名

3）バリアフリーオアシス（相談、在宅訪問）　【寄付による自主事業】

4）ぽけっと工房（17 年目）　【自主事業】

登録テレワーカー数 21 名（四肢 11、視覚 2、知的 1、内部 1、精神４、聴覚 2）

今年度実就労者 2 名（四肢１、精神１）　受注実績１件（Web ページメンテナンス）

（3）多文化・子ども

子どもの生活や活動範囲に合わせた多様で総合的に行える環境づくりの必要性を感じ、複数の団体に呼びかけ、2016 年度から「子どもの貧困浜松はじめの一歩連携事業」を開始した。その後８年間、訪問型の学習支援を核にして、経済的困窮だけでない様々な困難を抱えた子どもたちを支えようと中間支援活動の強みを生かし、他団体とネットワークしながら活動を進めている。

1）「多様な子どもの育ち応援事業」【日本郵便年賀寄付金】

① アウトリーチ型学習支援 合計 250 回（297 時間）

対象者 13 人：小 1 人、中 10 人、高 2 人

（障害あり 3／養育者 シングルマザー9、両親４／ 外国ルーツ 6／登校不安定１、不登校１）

講師８人（スクールカウンセラー、元小学校教員、特別支援教室支援員、外国ルーツの学習支援員、元適応指導教室支援員、ICT 教室主宰者）

②　子どもの声をきこう連続講座

教育現場などでは特に当事者である子どもの意思をききとることが大切であるが、不登校の理由を聞かれても言語化できない子どもも少なくない。子どもの声を聴き、代弁する力をもった大人たちが増えることを願って講座を開いた。

- 第１回　7 月 30 日（日）

テーマ：「子ども・若者が社会参画するために、大人ができること」

若者参画の街づくりについて全国規模で注目されている講師だが、大人の意思を押し付けるのではなく、決めるのは子どもだという具体的な事例が数多く紹介された。

講師：土肥潤也さん（NPO 法人 わかもののまち代表理事）

会場：クリエート浜松　53 会議室　参加者：22 名

- 第２回　9 月 2 日（土）

テーマ：「子育てから子育ちへ　大人ができること」

子どもが思っていることを言葉に出して言いやすい街になっているか？本当は大人の見栄や世間体のためになっていないか？子どもが安心できる街という前に今一度足元を見直してみる必要があることを話された。

講師：西野博之さん（フリースペースたまりば理事長、川崎市子ども夢パーク）

会場：浜松福祉交流センター　小ホール　　参加者：講演 59 名　上映会 57 名

＊「浜松子育て教育文化ネットワーク」とのジョイントイベントとして、講演後同じ会場で「ゆめパのじかん」の上映会が開かれた。

- 第 3 回　10 月 15 日（日）（オンライン）

テーマ：「子ども若者が育つ居場所づくりに必要な視点
～欧州のユースワークの経験から～」

子どもを客体とした子育て・育成という視点は、及び若者という言葉がない浜松の課名は、浜松の子ども政策の方向性の問題点を示すのではないかと感じていたため、ユースワークについて話していただいた。

講師：平塚眞樹さん（法政大学社会学部教授、ユースワークとしての若者支援編者）

参加者：16 名

＊平塚先生より「ユースワークとしての若者支援」が 15 冊寄贈され、関係行政担当者や活動者に配付した。

- 第 4 回　1 月 14 日（オンライン）

テーマ：「子ども・若者をまちづくりの主役に～子ども・若者の権利について」

2009 年浜松市子ども育成条例案に対する意見書作成者として、子どもの人権とはなにか考えるための権利基盤型アプローチについて、及び浜松市の子どもに関わる条例の課題について話していただいた。

講師：伊豆田悦義さん（リブラ綜合法律事務所、静岡県弁護士会）　参加者：24 名

③子どもの育ち環境調査

収集期間：2023 年 12 月 15 日（金）18:00～2024 年 1 月 31 日（水）18:00

収集方法：Google フォーム

対象者：浜松市周辺の定時制/通信制高校に通う学生　　回答数：448 件

4 月～7 月：仮調査票作成、フォーム検討

7 月～11 月：静岡大学笹原ゼミ（笹原教授＋静大生 4 名）協力の下調査票作成

10 月：浜名高等学校生、第一学院高等学校生、トライ式高等学院卒業生にヒアリング調査

12 月：調査票フォーム作成、浜松北高等学校／クラーク記念国際高等学校／浜松大平台高等学校／おおぞら高等学院新居高等学校／静岡中央高等学校　協力依頼

12 月～1 月：アンケート実施

1 月～3 月：笹原ゼミ協力の下データクリーニング等、結果分析作業、報告書作成

④ 子どもの声を聴こうネットワーク委員会開催

高校生や大学生委員もいる強みを生かし「こどもは主体」、「市の若者施策」をテーマにし、委員相互の活動について情報や意見の交換をしてネットワーク強化を図った。

委員：大野木龍太郎さん（静岡大学非常勤講師、ドリームフィールド）／亀井隆志さん（浜松学院大学）／鈴木唯記子さん（静岡県会議員）／奈良志保さん（アクティブ）／服部浩子さん（子ども育ちレスキューネット）／南新由葉さん（第一学院高等学校）

事務局：井ノ上美津恵、大野木里美

開催数：３回（7/2、10/7，2/25）　　会場：N ポケット会議室　（1 回オンライン併用）

2）子育て世帯に対するフードパントリー事業【浜松市】（再掲）

「物価高騰に伴う経済的な影響を受け、生活に困窮する浜松市在住の子育て世帯」という条件で、計 2 回・各回 150 世帯に食料品等を配付する事業。地域で継続的な支援のネットワークを広げる意図がある。

第Ⅰ期：西区入野協働センター、第Ⅱ期：中区佐鳴台協働センター

配付会当日は各回 135 世帯、配付会前後で各回 15 世帯に対し、購入した米、パスタ、レトルト、生活用品などを配付。のべ　寄付団体６、アルバイト４人、ボランティア 29 人、相談員 4 名の協力。相談者のべ 19 名。



3) 浜松市支援対象児童等見守り強化事業による支援

児童虐待予防の目的で、対象児童の家庭に食品を毎月届けながら見守り社会とのつながりをつけておくもの。

受託団体　「NPO 法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム」の協力団体として実施。

実数６家庭（対象児童 10 名）へ 46 回訪問

（４）環境・地域の自立

・2021 年度に設置した facebook グループ「いいないいな浜松の公園」の運営管理

３．組織の管理運営

（１）事務局

1）事務局会議：事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を、毎週水曜 10:00～11:00 で 44 回行った。各事業担当者から１週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のための相談・協議を行う。

2）拡大事務局会議：年 1 回、4 月に年間戦略会議を持ち、各事業の棚卸、課題の共有、今後の展望等について議論する場を持つのが恒例だが、本年度は 4/19 にガーデンパークにてリトリートを行った。

3）パートナーシップ構築宣言：取引先との共存共栄の取組や、「取引条件のしわ寄せ」防止を代表

者の名前で宣言した。

（2）理事会

2023 年度は 2 回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行った。

6/3（土）13:40～14:45　理事 10 名（委任状 2 名）、監事 2 名、その他 1 名　計 13 名

3/22（金）18:30~20:30　理事 8 名、監事 2 名、その他 2 名　計 12 名

（3）総会

6/ 3（土）15:00～16:30　浜松市福祉交流センター

参加者：正会員 28 名（うち委任状提出 10 名（正会員総数 40）

（4）認定 NPO 法人の認定について

2023 年度寄付　3000 円以上の有効寄付者数 105 名